



## 塚奥山遺跡出土 SB6住居出土縄文土器

揖斐川町塚奥山遺跡出土  
岐阜県文化財保護センター蔵

縄文時代中期後半(およそ4500年前)の竪穴住居あとから出土した土器です。住居の床からは、土器や石器、炭化物や動物の骨が多く出土しました。立体的な模様や渦巻き模様、細い粘土ひもで飾り付けた土器が多く見つかっていて、これらは東海地方の特に木曾川流域によく見られる土器です。また、富山県で多く出土する土器もあり、広い範囲の地域と交流があったことをうかがわせます。

(一部を企画展「タイムスリップ!大むかしのくらし」で展示します)













# \*\*\*\*\* 館蔵資料紹介 \*\*\*\*\*

掛看板 月宮丸

明治20年代～大正時代  
幅171cm 高48.2cm 厚7.3cm

婦人薬「月宮丸」の掛看板。右側に発売元である岐阜市常磐町小林杏雲堂の名を彫り込み、左側には薬を取り扱う山下薬店の名を入れたオーダーメイドで、店内に掲げていたものです。その効能を象徴するように、蔓花を持った母親と健康な2人の子どもが描かれています。これは西洋の天使を模したようですが、背中の羽根は鳥ではなく昆虫のようです。他の月宮丸の看板でも羽根の描写は本図と同様であり、独自の意匠だったようです。発売元の小林杏雲堂は明治19年(1866)創業。製薬のほか大陸への輸出なども広く手掛け、現在は一般医薬品開発・製造・販売大手の小林薬品工業株式会社として知られています。

当資料は岐阜市立岐阜薬科大学の元教授である故・松浦信氏が蒐集した資料の一つで、他にも岐阜市吉津町西覺寺販売の「疝気五香湯」、岐阜市細畑小木曾進盛堂発売の「快通丸」などの看板も含まれ、岐阜市域が伝統的に製薬、売薬が盛んだったことを知る好資料となっています。



\*\*\*\*\*

## 利用の御案内

- **開館時間** 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- **休館日** 毎週月曜日と祝日の翌日  
(月曜日が祝日の場合はその翌日)  
年末年始(12月28日～1月3日)  
※特別展・企画展開催中は変更することがありますので、ご注意ください。
- **観覧料** (団体は20人以上)  
歴史博物館総合展示、加藤栄三・東一記念美術館  
高校生以上 300円(団体240円)  
小中学生 150円(団体90円)  
両館共通で観覧される場合  
高校生以上 510円(団体410円)  
小中学生 250円(団体150円)
- **交通案内** JR岐阜駅・名鉄岐阜駅から岐阜バスにて長良方面行きに乗り、「岐阜公園歴史博物館前」で下車、すぐ東に歴史博物館があります。  
岐阜公園内ロープウェー乗り場すぐ隣に加藤栄三・東一記念美術館があります。
- **家庭の日** (毎月第3日曜日)に入館する中学生以下の人
- **特別展** (毎月第3日曜日)に入館する中学生以下の人に同伴する家族(高校生以上)の人(特別展を除きます。)
- **特別展** 岐阜市内の小中学生の人(特別展を除きます。)

◎次の方は無料でご観覧いただけますので、手帳等をご提示ください。

- ・岐阜市在住の70歳以上の人
- ・身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳の交付を受けている人、およびその介護の人1人様

博物館だより No.89 2015. 4  
編集・発行 岐阜市歴史博物館  
〒500-8003 岐阜市大宮町2-18-1 ☎058(265)0010  
(分館) 加藤栄三・東一記念美術館  
〒500-8003 岐阜市大宮町1-46 ☎058(264)6410